

夢の舞台で チャンスをつかめ！ 熱戦の決勝大会

2023年12月2日(土)・3日(日)の2日間、第20回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権記念大会「決勝大会」を開催。
中国5県の代表8チームが「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」をメイン会場に奮闘。各チーム、躍動する姿を見せました。



中国ろうきん杯 学童軟式野球選手権大会とは？

「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、2004年より〈中国ろうきん〉の社会貢献活動の一環として、中国地区軟式野球連盟と〈中国ろうきん〉の共催で開催し、2023年で記念すべき第20回目を迎えました。

2023年度 参加チーム数	
鳥取県	36
島根県	80
岡山県	102
広島県	139
山口県	105
合 計	462



1日目 憧れのグラウンドで躍動 チームみんなで悔いのない戦いを！

寒空の12月2日(土)、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」で決勝大会が開幕しました。6年生が引退を控え、「このメンバーでは最後の試合」というチームも多く、悔いのない結果を残そうと、選手たちの表情には気合と緊張が入り混じっていました。

初日は準々決勝の全4試合を実施。憧れの野球選手がプレーする夢のグラウンドで、大好きな野球ができることへの感謝を胸に、日頃の練習の成果を発揮しました。



▲始球式にはなんと、広島東洋カープOBで元監督の佐々岡真司さんが登板！見事なピッチングに、スタンドからは大きな拍手が起こりました。

PICK UP!

第20回開催を記念して ユニホーム盾を贈呈

開会式では、中国ろうきん杯の第20回目の開催を記念し、出場選手全員に名前・背番号入りのオリジナルユニホーム盾が贈られました。この盾とともに、決勝大会をめざした努力の日々が、選手たちにとって忘れられない思い出になることを願います。



各チームの
ユニフォームを
デザイン！



スタンドからも
全力応援！



2日目

一投一打に全力を注ぎ 声援も後押しとなった準決勝&決勝

2日目は、準決勝と決勝が行われ、3位と準優勝・優勝チームが決定。準決勝では、延長7回(タイブレーク)での連続長打が決め手となった四福少年野球と、ねばり強く競り勝った中条少年野球クラブが決勝へ進みました。

決勝戦では、両チーム初回から多くのチャンスを作りながらも、なかなか得点に至らないまま迎えた最終回。1-0で先制していた中条少年野球クラブの打線が繋がり、ガッツポーズとともに執念の追加点！ピッチャーは強みである速球によって裏の回を守り切り、ゲームセット。勝利の瞬間にはチーム全員で喜びを爆発させ、決勝大会は幕を閉じました。



広島県代表 中条少年野球クラブ

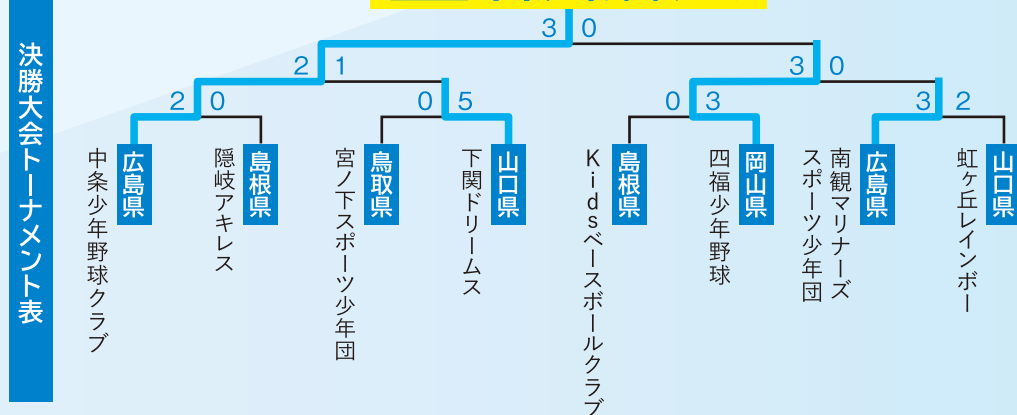
決勝大会ではわずか1失点という鉄壁の守り、リズム良く繋がる打線と、攻守揃った戦力で優勝を勝ち取った中条少年野球クラブ。チームスローガンの「全戦全笑(勝)」のとおり、常に笑顔を決やらず、前向きに戦い抜きました。



岡山県代表 四福少年野球

「どんな場面でも積極的にチャレンジすること」をモットーに掲げ、最後まで勝利に食らいつく姿が印象的だった四福少年野球。選手だけでなく、ベンチやスタンドからの声援がひととき大きく響いていました。

広島県 中条少年野球クラブ



広島県代表 中条少年野球クラブ 主将